

日本応用藻類学会設立15周年記念シンポジウム

日本応用藻類学会の歩みと応用藻類学の未来

日本応用藻類学会は藻類に関係した基礎から応用研究までの幅広い分野を網羅した課題とすることを目的として設立された。これまでの15年の歩みを振り返ると自然環境と藻場、藻類養殖技術、食用資源と海藻成分の応用など、藻類学全般を包括した内容を捉えてきている。

今後の更なる発展を踏まえ、1. 「日本応用藻類学会15年を振り返って」により日本応用藻類学会の設立とこれまでの歩みを、2. 「海藻の生体機能と養殖技術の進展」で食用海藻の養殖技術開発研究の評価と進展を、3. 「海藻生物学の方向性」で生物学的見知からの海藻の活用と展望を講演していただく。

日本応用藻類学会の過去の歩みを踏まえ、海藻の養殖技術の開発から生物学的研究などの提言を基に、今後更なる発展を目指し、進むべき方向性などを論議するために、本シンポジウムを企画した。

プログラム

- 14:00～14:05 S01 「趣旨説明」
丸山 弘子 日本応用藻類学会会長
- 14:05～14:35 S02 「日本応用藻類学会15年を振り返って」
能登谷 正浩 東京海洋大学名誉教授
- 14:35～15:05 S03 「海藻の生体機能と養殖技術の進展」
團 昭紀 徳島大学大学院 生物資源産業学研究部
水圏教育研究センター
- 15:05～15:45 S04 「海藻生物学の方向性」
三上 浩司 北海道大学大学院水産科学研究院
- 15:45～16:10 総合討論と日本応用藻類学会の今後の展望
丸山 弘子 日本応用藻類学会会長

開催日：2016年5月14日（土）
一般口頭発表：10:00～12:15
ポスター発表：13:20～13:55
企画シンポジウム：14:00～16:10
会場：東京都港区港南4-5-7
東京海洋大学品川キャンパス
楽水会館大会議室